

第1回スキルアップ講座 (R1.6.22) 子どもの『生きる力』を育むために

お話いただいたのは・・・

NPO 法人 親の育ちサポートかがわ
香川大学医学部小児科医
鈴木 裕美 先生



よい親子関係(土壌)を作り、
育ちゆく木にたっぷりポジティブシャワー(前向きな言葉かけ)を与え、折れない幹を育てましょう。
今からでも遅くありません。
今日からスタート！
一緒に頑張りましょう！

講座では、子どもたちが前向きに、自信をもってたくましく生きていくことができる力を育むために必要な、子どもとのいい親子関係の築き方や子どもを伸ばす具体的な方法を教えていただきました。

大切なのは、子どもが求める「愛してほしい!」「見てほしい!」「認めてほしい!」という3つの気持ちを満たす行動をとっていくこと。子どもとの関わりを良い方向に変えることができる具体的な方法やヒントを学ぶことができました。



具体的に効果的な言葉かけの練習も行いました。

【受講者の感想】

- ドーパミンや脳、ドーパミンの分泌方法についての説明が具体的でわかりやすかった。
- ほめるタイミング、ほめ方が大変勉強になった。
- 前向きな言葉の大切さに気づいた。ポジティブシャワーをたくさんかけてあげたいと思った。

鈴木先生はNPO 法人 親の育ちサポートかがわのHP上で子育てのアドバイスを配信されています。誰もが持っている子育ての悩みを優しく受け止め、スモールステップからでも大丈夫と背中を押して下さる先生の言葉は、子育て真ただ中の依頼会員さんの心にも響くものがあると思います。興味がある方は、ぜひチェックしてみてください。

NPO 法人 親の育ちサポートかがわ
<https://oyasapo.wordpress.com/>

Dr.ひろみのハッピー子育てひろばをクリック



第2回スキルアップ講座 (R1.9.27) 『地震から生き残り 生き続けるために あなたは何を備えていますか?』

お話いただいたのは・・・

香川大学 危機管理先端教育研究センター
副センター長・特命教授
松本 秀應 先生

まずは、提供会員のみなさんがケガをしないことが預かった子どもさんの安全を守るために大切です。
家具等の転倒で命を落とさないように、家の中を安全しておくことなど、事前の備えが必要です。



講座では、南海トラフ巨大地震を念頭に置き、提供会員さんが安心・安全な援助活動を行うために必要な防災の知識を教えていただきました。

新聞紙で簡易スリッパの作製、食器棚を固定するつっぱり棒の適切な位置や揺れに強い食器の重ね方についての検証実験など、工夫を凝らしたわかりやすいご講義を通して、防災を自分事として身近に捉え直しながら、楽しく学ぶことができました。



発表を聞き合うことで、知恵や情報を共有しました。

【受講者の感想】

- 自分の防災意識が低いことに気づかされた。とても勉強になった。
- 防災について、子どもを預かっている時という観点で考える事ができてよかった。
- 防災について備えられることはすぐに行動に移したい。

心が痛む大規模な災害が各地で起こっています。他人事ではありません。万一災害が起きた時に、地域を支える大人としてより良い行動ができるように、今回、各々が確認した取り組むべき課題を、できることから始めていきましょう。
センターにおきましても、会員相互間の避難場所の確認や災害伝言ダイヤルの利用方法の周知など、継続して防災に取り組んでまいります。

